

# 災害からのサバイバル こんなときキミならどうする？

災害や事故はいつどこで起こるかわかりません。テレビを見ている時、デパートに来ている時、海水浴に来ている時など、様々な場面で起こる災害や事故にどのように対応すればよいか、紙芝居形式のゲームにより楽しく学びます。



紙芝居形式のゲームにより、災害や生活事故に関する対処方法を楽しく学習します。



時間軸

## 実施内容

対象人数★5～40人

### 1 導入 (5分)

自然災害や生活事故など、予測のできない事態に遭遇した時に、冷静・迅速に正しい行動をとることの大切さを話し、紙芝居の説明をします。

具体的には、

「地震や火事が起きたとき、ケガや事故にあったとき、近くに家族や大人がいなかったらみんなはどうしますか？今からみんなに見てもらおう紙芝居では、どうすれば危険から自分の身を守れるのかを考えてもらいます。」

「紙芝居の中では、色々なことを質問しますので、みんなは元気よく答えてもらいたいと思います。良い答えをした人、元気よく答えてくれた人には「ポイントカード」をあげます。紙芝居が終わった時に、ポイントカードをたくさん持っている人は、金・銀・銅の「メダルカード」がもらえるので頑張ってください。」

### 2 紙芝居の実施 (30分)

→資料1,2

紙芝居には、A (二者択一)、B (危険予測)、C (初動対応) の3つのタイプがあります。それぞれのタイプの使い方は次のとおりです。

<Aタイプ—二者択一—>

5枚 (又は4枚) で1テーマを構成するタイプの紙芝居で、全8テーマあります。2択式で災害などに対する「望ましい行動」を学習者に考えてもらいます。

- ① 場面1 (日常生活) および場面2 (災害など) を読み上げます。
- ② 学習者に場面3 (2種類の対応) を見せ、いずれかの回答を選択させます。
- ③ 指導者は、学習者に場面4 (望ましくない対応の結果) 及び場面5 (望ましい対応の結果) を見せ、それぞれについて、なぜ正しくなかった (または正しかった) のかを解説します。
- ④ 回答について、望ましい行動を選択した学習者に対し、ポイントカード (資料2) をあげます。ポイントカードは1点、5点、10点の3種類がありますので、テーマによってあげるポイントを変えるなど、適宜工夫して使ってください。



消太くんの紙芝居

<Bタイプ—危険予測—>

3枚が1テーマを構成するタイプの紙芝居で、全5テーマあります。日常生活において、私たちの身の回りにある危険を予測してもらいます。

- ① 場面1 (日常生活) を読み上げます。
- ② 指導者は、場面2 (事故の一步手前) を見せ、この時、どのような危険があるのか学習者に予測させ、自由に回答させます。
- ③ 指導者は、場面3 (生活事故) を見せ、起こりうる危険について解説します。場面3以外の意見が出た時は、指導者は資料1の裏面を参考に、適宜解説してください。
- ④ 危険について、予測できた学習者や積極的に回答した学習者などにポイントカード (資料2) をあげます。



ポイントカード

実施内容

<Cタイプ—初動対応>

3枚が1テーマを構成するタイプの紙芝居で、全3テーマあります。救急や火災を発見した時、どのような対応をとればいいのかを自由に回答してもらいます。

- ① 場面1（日常生活）を読み上げます。
- ② 指導者は、場面2（救急や火災の場面）を見せ、この時どのような対応をとればいいのかを質問し、学習者に自由に回答させます。
- ③ 指導者は、場面3（望ましい対応）を見せ、解説します。場面3以外の意見が出た時は、指導者は資料1の裏面を参考に、適宜解説します。
- ④ 望ましい対応を回答した学習者、積極的に回答した学習者などにポイントカード（資料2）をあげます。



メダルカード

**4 まとめ (5分)**

→資料3

すべての紙芝居を読み終えたら、学習者のポイントを合算し、順位の高い学習者から「金メダルカード」「銀メダルカード」「銅メダルカード」（資料3）を渡します。（メダルカードは持ち帰ってもらってもよいでしょう）

**指導ポイント**

- ① 災害や事故の対応には、望ましい行動と望ましくない行動があることを知り、災害などの発生時には、望ましい行動を取ることができるよう指導しましょう。
- ② 普段はあまり気が付かないけれど、生活の中には様々な危険があることを気付かせ、起こりうる危険を回避する方法を指導しましょう。
- ③ 紙芝居では、できる限り多くの参加者に回答してもらえよう、回答時間は1テーマ5分以上を目安にゆとりを持って確保しましょう。

**自主防災組織の関わり方**

- ① 災害や生活事故の対応について、アドバイスをしてもらえようお願いします。
- ② 過去の災害経験についてお話してもらえようお願いします。

**準備するもの(目安)**

準備品	数	備考
<input type="checkbox"/> 資料「災害からのサバイバル こんなときキミならどうする？」	1セット	資料1①～⑩（指導者用）
<input type="checkbox"/> 資料「ポイントカード」	適宜	資料2（配布用）
<input type="checkbox"/> 資料「メダルカード 金、銀、銅」	適宜	資料3（配布用）
<input type="checkbox"/> パソコン	1	必要に応じて準備
<input type="checkbox"/> プロジェクター	1	必要に応じて準備
<input type="checkbox"/> スクリーン	1	必要に応じて準備
<input type="checkbox"/> スピーカー	1	必要に応じて準備

**家庭への持ち帰り**

紙芝居（資料1の一部又は全部）を子どもたちに配り、子どもが家に帰って家族に紙芝居の内容を話し合うように指導してください。

**ひと工夫**

- ① 参加者が最後までメダルを取ることをあきらめないように、問題によって、正解すればもらえるポイント数を変えるなど工夫しましょう。
- ② 学習時間に合わせて、用いる紙芝居のテーマの数を調整しましょう。
- ③ パソコンとプロジェクターにより、資料1をスクリーンに映して実施すれば、より多くの人数で学習することができます。

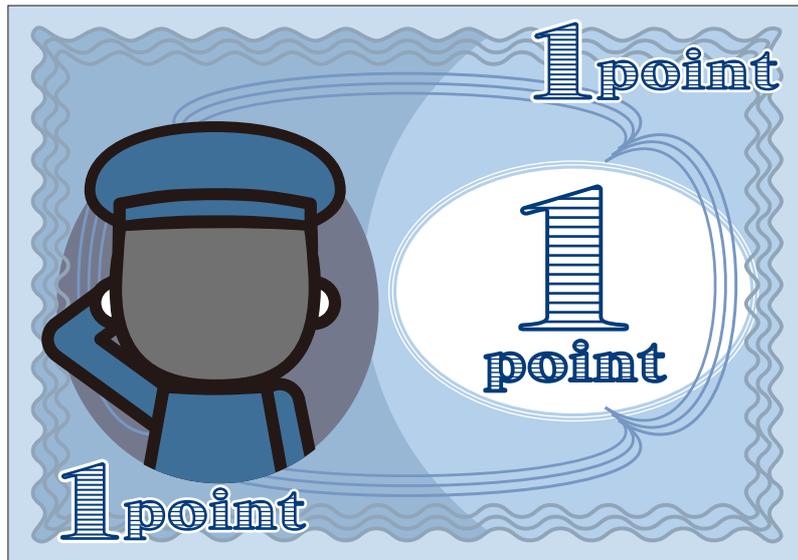
**注意事項**

子どもたちが回答を選択する際、子どもたちに移動してもらう場合には、多くの子どもたちの移動により事故が発生しないように、安全管理には十分に気を付けてください。

ポイントカード



ポイントカード





メダルカード 裏

